

ほっとけない子どもの貧困 2018 シンポジウム

～サブタイトル・副題～

2018年2月25日（日）10:00～16:00

会場：アクトシティ浜松 コンgress（午前）／研修交流センター（午後）

<午前の部> 10:00～12:00

基調講演「**子どもの貧困 ～見えない貧困の背景を知る～**」

講師：大西連さん（認定 NPO 法人もやい理事長）

<午後の部> 13:30～16:00

実践報告から「**子どもの貧困 ～私たちにできることは何？～**」

全体会 浜松市の取り組み／N-Pocket の取り組み

分科会 **A 「子どもの学習支援」**

〇〇〇〇さん（ぎふ教育支援ネットワーク）、伊藤真一さん（基礎屋）

B 「子どもの居場所」

近藤博子さん（気まぐれ八百屋だんだん店主）

C 「高校のキャリア支援」

中村守孝さん（新居高校定時制）、池田佳代子さん（サポステ掛川）

定員：午前 100 名、午後 60 名（定員に達し次第め切ります） 参加費：無料

申込：TEL・FAX 053-445-3717 または info@n-pocket.jp **要申込！**（2/23 まで）

①お名前 ②所属 ③午前／午後 ④希望の分科会 ⑤連絡先（メールか電話）を明記のこと。

主催：認定 NPO 法人 浜松 NPO ネットワークセンター（N-Pocket）

共催：社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会

後援：浜松市（申請中）

協力：子ども育ちレスキューネット、フラットアイ、NPO 法人えんあって、NPO 法人サステナブルネット、基礎屋（順不同）

<午前の部> 10:00～12:00 アクトシティ コングレス 21 会議室

基調講演 「子どもの貧困 ～見えない貧困の背景にあるもの～」

講師：大西連さん（認定 NPO 法人もやい理事長）

最近話題になっている「子どもの貧困」。スマホや立派な家電があるのに貧困家庭？

進学や学費はどうすればいい？ 貧困は自己責任？ 貧困の連鎖を防ぐには？

子どもを取り巻く背景やその対策や制度について、わかりやすく解説します。

講師プロフィール：1987 年東京生まれ。認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事長。新宿ごはんプラス共同代表。生活困窮者への相談支援活動に携わりながら、日本国内の貧困問題、生活保護や社会保障制度について、現場からの声を発信、政策提言している。

<午後の部> 13:30～16:00 アクトシティ 研修交流センター52 交流室 ほか

実践報告から 「子どもの貧困 ～私たちにできることは何？～」

全体会 浜松市の取り組み 浜松市子ども支援課 課長 高山厚志さん
N-Pocket の取り組み 代表理事 井ノ上美津恵

分科会 A 「子どもの学習支援」

話題提供者：〇〇（検討中）

伊藤真一さん（基礎屋）

浜松市でもあちこちで取り組み始められた学習支援。不登校や障害、外国ルーツなど、様々な背景や困難をもつ子どもたちに寄り添いながら、どんな配慮や支援をしたらよいのか。岐阜と浜松の実践者にお話を伺い、みんなで考えます。

B 「子どもの居場所」

話題提供者：近藤博子さん（気まぐれ八百屋だんだん 店主）

子ども食堂のみならず、子どもが立ち寄れる居場所があちこちにあって、「地域全体で子どもを見守る社会」をつくっていきたい。“食”を通して地域をつなぎ、子どもからお年寄りまで多世代が集まる大田区のコミュニティ八百屋の実践に学びます。

C 「高校のキャリア支援」

話題提供者：中村〇〇さん（新居高校定時制）

池田佳代子さん（地域若者サポートステーションかけがわ）

高校卒業後の進路は、自立生活への第一歩。安定した就労につなげるための支援とは？学校と連携できることは？定時制高校におけるキャリア支援や校内カフェ、サポステでの事例と課題から、「出口問題」を考えます。

この事業は H28 年度日本郵便の年賀寄付金の助成を受けて実施します。